

VI. コミュニケーション活動

① JAMSTECのイベント

JAMSTECでは、各研究拠点や研究船の一般公開のほか、体験乗船やセミナーなどを実施してきました。

しかしながら、2019年度末以降、世界的に感染が拡大した新型コロナウイルスの影響により、2020年に予定されていた各種イベントは中止や変更をせざるを得なくなりました。

現在では、オンラインでの開催を含めて、感染拡大に留意しながらイベントを実施しており、今後につきましても新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、各種イベントを企画し開催してまいります。

詳細はJAMSTECホームページをご覧ください。
<http://www.jamstec.go.jp/j/pr/>



●2020年度に開催したイベント いずれもオンラインによる開催

開催日	イベント
2020.9.22	北極ボードゲーム『The Arctic』日本科学未来館イベント「オンライン 研究者と語る北極の今とこれから」
2020.8.1～9.30	海洋都市横浜バーチャルうみ博2020～見て、感じる 海と日本PROJECT～
2020.10.16	統合的気候モデル高度化研究プログラム オンライン講演会「地球温暖化を予測する～地球規模の変化から身近な影響まで～」
2020.10.28	第17回「地球環境シリーズ」講演会「未来へ、豊かな生態系の海を届けるために～持続可能な開発のための海洋科学の10年～」
2020.11.4	2020年度革新的深海資源調査技術報告会
2020.11.16～11.29	GODACスペシャルWEEKS開催
2020.11.30	研究報告会 JAMSTEC2020
2020.11.10～12.13	企画展「世界の海がフィールド！ 学術研究船『白鳳丸』30年の航跡」（国立科学博物館との共催）11/28に「白鳳丸」とのライブ中継イベント実施
2020.12.17・18	「海と地球のシンポジウム2020」研究船等を利用して得られた成果の報告会
2021.2.27	我々は東北沖地震から何を学んだか？—その時何が起こり、これからどうなるのか—
2021.3.18	「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」シンポジウム
2021.3.21	オンライン海洋教室「海洋ごみ問題について考えてみよう！」@GODAC×高知コア研究所
2021.3.23～4.4	オンライン特別展「海の生物多様性」@GODAC

② JAMSTEC PARTNERS (賛助会)



JAMSTECでは海洋科学技術の発展を企業及び団体の皆さまと共に推進していくため、寄付によるご支援をいただく賛助会（会員数183社：2021年3月末時点）を運営しています。

賛助会は、JAMSTEC設立と時期を同じくして、産業界各位からの寄付によるご支援を頂き、研究成果や集積された情報を会員の皆様にご活用頂くとともに、JAMSTECが様々な形で社会貢献を行っていくための一つの仕組みとして発足したものです。

賛助会では研究活動や技術開発による研究開発成果を会員の皆さまにご活用いただくため様々な会員特典をご用意しています。また、技術交流会、セミナー・シンポジウム、見学会及び体験乗船会等の会員限定イベントも含めた各種活動にもご参加いただけます。

詳細につきましては賛助会ホームページ（<http://www.jamstec.go.jp/partners/>）をご覧ください。

<会員特典>

情報提供	研究報告会・各種講演会等の開催。出版物、図書館等情報資料の利用
技術提供	社内研修会等への講師・技術指導者の派遣
事業サポート	研究船や無人探査機、各種施設・設備等を利用した、会員様の技術開発サポート
優遇	JAMSTECのスパコンやプール等の保有共用施設・画像データ等の利用における優遇

<会員限定イベント>

技術交流会	技術交流会や研究発表を通しての、JAMSTECと賛助会員様との相互の交流の場の提供
セミナー・シンポジウム	最先端の研究報告やプロジェクト紹介、海洋科学に関するセミナー、各種シンポジウムのご案内
各種見学会	賛助会員限定のJAMSTEC船舶や各種施設見学の実施
体験乗船会	JAMSTECの研究船に数日間乗船して、現場での運用や各種試験等を体験

🚢 創立50周年記念 JAMSTEC 寫・眞・館 🚢

1981年 有人潜水調査船「しんかい2000」完成

1969年（昭和44年）の海洋科学技術審議会の第3号答申では、先行的・共通技術の1つとして6000m潜水調査船開発の必要性を指摘され、その開発にむけた議論を経て、1976年（昭和51年）に6000m級に至る中間段階として、2000m級の開発・運用を目指すことが決まりました。



1978年（昭和53年）に起工した2000m潜水調査船は、1981年（昭和56年）4月からの総合海上試運転を経て、10月には最大潜航深度2008mに到達し、10月30日にJAMSTECに引き渡され、全国の小中学生を対象とした公募を経た議論の末に、船名が決定しました。

これが、「しんかい2000」の誕生です。

建造当時の運航要員は軍用潜水艦と民間潜水船経験者の3名を核として編成され、運航要員の全国公募も実施しましたが、危険な仕事と考えられたため応募者は乏しく、全国公募による採用者はありませんでした。

現在では、潜水船パイロットが憧れの職業にあげられますが、隔世の感に堪えません。